



新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

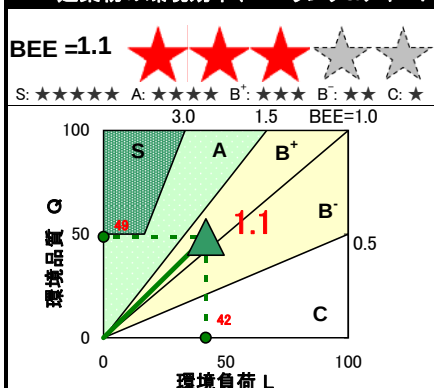
1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)L京都御所南新築工事	階数	地上5F	
建設地	京都市中京区室町通夷川上る鏡屋	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	99 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年2月28日	
敷地面積	1,120 m ²	作成者		
建築面積	890 m ²	確認日	2011年2月28日	
延床面積	3,270 m ²	確認者		

外観パース等

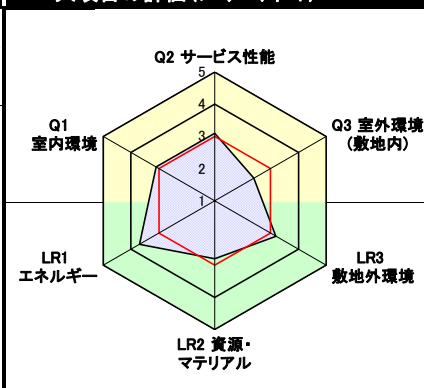
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

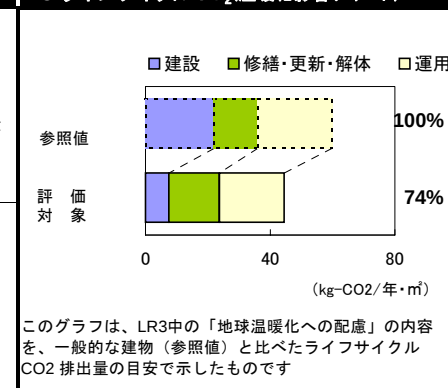
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



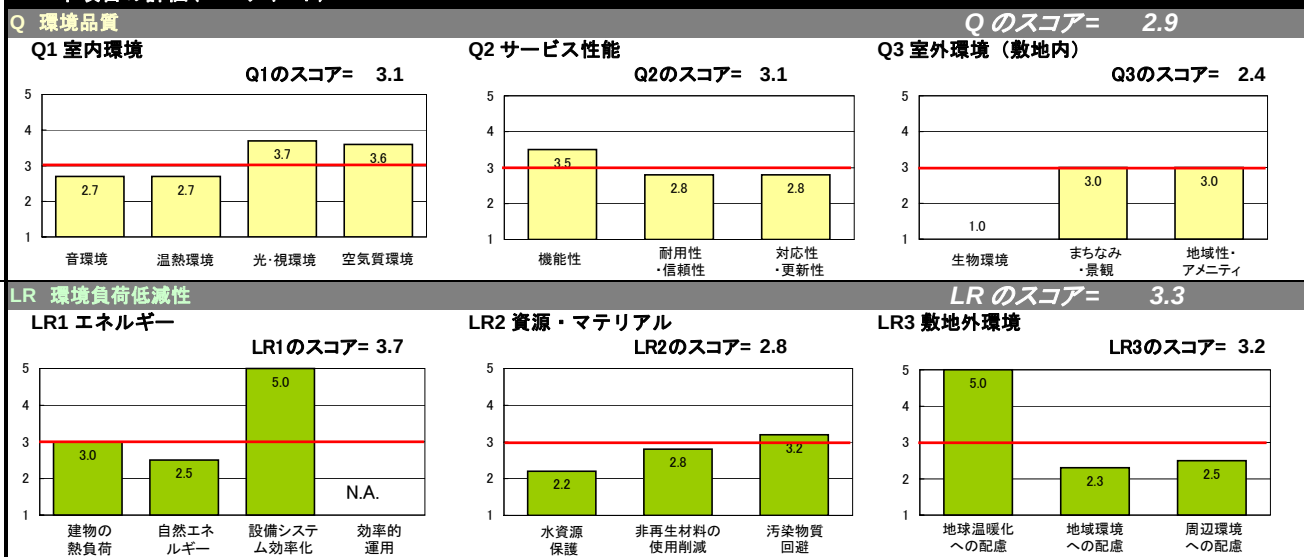
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
旧市街地美観地区に伝統と先進が融合したこれまでにない新しい邸宅の創造。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
節水トイレの採用	品確法 高齢者等配慮対策等級(専有部分) 等級3	緑地率10%以上確保し、自然との調和を図った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
品確法 省エネルギー対策等級 等級3 給湯器をエコジョーズとした。	ハロン消化剤を一切使用せず、地球温暖化に配慮した。	ごみ置場(屋根・壁付)の設置設置、地域景観に配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■「Q: Quality (建築物の環境品質)」、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい